

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 <small>位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>										
事務事業名	生涯学習センター運営管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	施設	係	作成者	野口 直希	内線(電話番号)	8410
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 公共施設等総合管理計画)			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: 生涯学習センターの設置及び管理に関する条例)					
シート作成日	H30.10.15		部長決裁日	H30.10.24						

2 事務事業の目的 <small>当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>										
現状課題	生涯学習センターは、創作や文化活動の場として市内外からの利用も多く、稼働率の高い施設である。しかし、平成8年に建築された当館は、20年以上が経過し老朽化も進んでいる。貸館として利用者の安全に配慮した管理は義務であり、経年劣化による施設・設備の不具合は計画的に修繕を実施していく必要がある。			誰・何を対象に	施設利用者 サービス低下に陥る修繕必要箇所			望ましい状態	当センターは有料施設であるため、利用者に対して最良の状態ですサービスが提供できる施設でなければならない。	
どのような方法・手順で				学習の場の提供	定期的な点検による管理および計画的な修繕の実施					

3 事務事業の主たる成果指標 <small>数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>										
指標名	利用者数	単位	人	目標値	100,000	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	過去の利用実績を勘案して、達成可能な数値を目標とした。	

4 事務事業の実績 ① <small>当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>												
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度					
	業務名			業務名			業務名					
	活動量			活動量			活動量					
事務事業を構成する主な業務	① 業務管理委託	6回	① 業務管理委託	12回	① 業務管理委託	12回	① 業務管理委託	12回				
	② 警備委託	12回	② 警備委託	12回	② 警備委託	12回	② 警備委託	12回				
	③ 設備機器保守管理委託	2回	③ 設備機器保守管理委託	2回	③ 設備機器保守管理委託	2回	③ 設備機器保守管理委託	2回				
	④ 清掃業務委託	6回	④ 清掃業務委託	12回	④ 清掃業務委託	12回	④ 清掃業務委託	12回				
	⑤ エレベーター保守管理委託	6回	⑤ エレベーター保守管理委託	12回	⑤ エレベーター保守管理委託	12回	⑤ エレベーター保守管理委託	12回				
	⑥ 電気安全管理委託	6回	⑥ 電気安全管理委託	6回	⑥ 電気安全管理委託	6回	⑥ 電気安全管理委託	6回				
	⑦ 火災報知器等保守管理委託	1回	⑦ 火災報知器等保守管理委託	2回	⑦ 火災報知器等保守管理委託	2回	⑦ 火災報知器等保守管理委託	2回				
	⑧ 防火対象物点検委託	1回	⑧ 防火対象物点検委託	2回	⑧ 防火対象物点検委託	2回	⑧ 防火対象物点検委託	2回				
	⑨ 空調機械保守管理委託	1回	⑨ 空調機械保守管理委託	2回	⑨ 空調機械保守管理委託	2回	⑨ 空調機械保守管理委託	2回				
	⑩ 自動ドア保守管理委託	2回	⑩ 自動ドア保守管理委託	2回	⑩ 自動ドア保守管理委託	2回	⑩ 自動ドア保守管理委託	2回				
	⑪ 環境設備委託	4回	⑪ 環境設備委託	5回	⑪ 環境設備委託	5回	⑪ 環境設備委託	5回				
	⑫		⑫		⑫		⑫					
目標値に対する実績値		47,517	人	目標値に対する実績値		38,344	人	目標値に対する実績値		61,501	人	
決算額	計	12,710,145	円	計	14,849,115	円	計	21,852,126	円			
	内訳	特定財源	404,900	円	内訳	特定財源	1,270,690	円	内訳	特定財源	2,211,600	円
	内訳	一般財源	12,305,245	円	内訳	一般財源	13,578,425	円	内訳	一般財源	19,640,526	円
(住民一人あたりの行政コスト)		206	円	(住民一人あたりの行政コスト)		244	円	(住民一人あたりの行政コスト)		361	円	

5 担当者評価 ② <small>実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>									
成果	目標未達成	当館は平成27年9月の関東・東北豪雨の被害により使用不能となったが、平成28年度災害復旧工事により再開した。再開当初こそ利用は低かったものの、平成29年度は災害前の状況に回復した。							
問題点		災害による復旧は完了したものの、平成8年に建築された当施設は老朽化が進んでおり、近年修繕を要す箇所が顕著になっている。これらを計画的に修繕し、最良のサービスを提供することにより利用者の増加を目指す。							

6 担当部長及び担当課長評価 ③ <small>担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>									
事務事業の方向性									
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	ホールの雨漏りや空調設備の改修など経年劣化による改修が必要である。計画的に改修を進め、安全で快適な利用者への生涯学習の場の提供に努める。								

7 実施計画 ④ <small>今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。</small>												
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度					
	事業内容			事業内容			事業内容					
事業内容	○業務管理委託 ○警備委託 ○設備機器保守管理委託 ○清掃業務委託 ○エレベーター保守管理委託 ○電気安全管理委託 ○火災報知器等保守管理委託 ○防火対象物点検委託 ○空調機械保守管理委託 ○自動ドア保守管理委託 ○特殊建築物定期報告業務委託 ○環境整備委託 ○生涯学習センター 屋上防水改修工事			○業務管理委託 シルバー委託△1人 △1,960千円 ○警備委託 ○設備機器保守管理委託 ○清掃業務委託 ○エレベーター保守管理委託 ○電気安全管理委託 ○火災報知器等保守管理委託 ○防火対象物点検委託 ○空調機械保守管理委託 ○自動ドア保守管理委託 ○環境整備委託 ○舞台吊物電気制御部交換工事			○業務管理委託 ○警備委託 ○設備機器保守管理委託 ○清掃業務委託 ○エレベーター保守管理委託 ○電気安全管理委託 ○火災報知器等保守管理委託 ○防火対象物点検委託 ○空調機械保守管理委託 ○自動ドア保守管理委託 ○特殊建築物定期報告業務委託 ○環境整備委託 ○舞台吊物ワイヤー・引綱ロープ交換工事					
	5,800千円			4,677千円			3,618千円					
予算額	歳出	計	28,523	千円	歳出	計	25,176	千円	歳出	計	24,378	千円
	歳入	特定財源	3,600	千円	特定財源	3,600	千円	特定財源	3,600	千円		
		一般財源	24,923	千円	一般財源	21,576	千円	一般財源	20,778	千円		
		計	28,523	千円	計	25,176	千円	計	24,378	千円		

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、貸館として有料でどの程度利用されているかが重要であり、稼働率向上を収益を高めるPRや更なる創意工夫が必要である。修繕費のみが膨れ上がることをないよう計画的に修繕しながら、施設運営については最小の経費で最大の効果があげられるように工夫されたい。また、市民の需要が高い施設のひとつでもあり、市民が利用しやすい施設運営に努めていただきたい。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤									
事務事業の方向性									
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	学習機会や活動場所への希求は、セカンドライフ世代の増加に比例し、増大している。コストパフォーマンスに優れ、なおかつ、市民に安全で快適な学習の場を提供できるよう計画的な管理運営を実施すべきである。								

11 事務事業の改善理由 ⑥ <small>実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。</small>									
事業内容	生涯学習センターの施設管理は、従来昼間3人夜間2人体制でシルバー人材センターに業務委託している。平成31年度から昼間を2人体制にし、委託料の削減を図る。また、事務が煩雑となる場合水海道公民館委託職員が情報を共有し、相互に対応(勤務)できる体制づくりを目指す。								